

第39回共同連全国大会 IN 大阪大会

日時

2024年

9月14日(土)～15日(日)

12:30(開場) 13:00～18:00

9:45～13:30

場所

大阪府立労働センター「エル・おおさか」

〒540-0031 大阪市中央区北浜東 3-14

参加費

現地参加(2日間) 4,000円

現地参加(1日のみ) 2,500円

オンライン(2日間) 2,000円

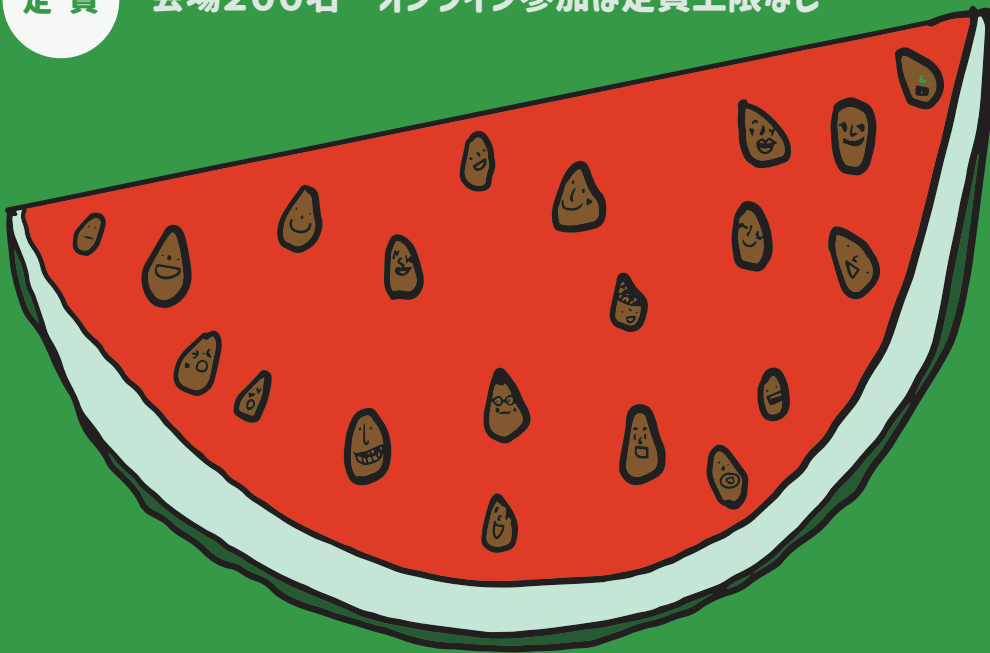
オンライン(1日のみ) 1,000円

交流会

4,000円

定員

会場200名 オンライン参加は定員上限なし



参加申し込みはこちら ↓



問い合わせ先

第39回共同連全国大会 I N 大阪現地実行委員会

〒562-0043 大阪府箕面市桜井 2-8-15 ちまちま工房

TEL 072-735-7901 FAX 072-725-0244

E-mail: kyodoren39@gmail.com

主催 NPO 法人 共同連 第39回共同連全国大会 I N 大阪現地実行委員会

後援(一部申請中)

厚生労働省・大阪府・大阪市・全国手をつなぐ育成会連合会・きょうされん・DPI 日本会議 ワーカーズコープ連合会・ワーカーズコレク

ティブネットワークジャパン・大阪府教職員組合・障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議(障大連)ヤマト福祉財団

協力 ゆめ風基金

切
ええやん!
らへん分けへん共に働くって
一人一人の「暮らし」と「働く」が
金儲けのネタになっている!どないしよう!?

1 日目

全体会1

「一人一人にはストーリーがある だから思い通りにさせへんで!!
～障害者雇用率ビジネスと悪しき A 型の実態を知り 共に働くを問い直す～」

記念講演 雇用率を売買する障害者雇用率ビジネスの問題点
市川亨さん (共同通信編集委員)

シンポジウム 『共に働く』 から離れている現実はどう向き合うか
市川亨さん
藤田和恵さん (フリージャーナリスト)
久万真毅さん (山陽新聞社)
進行: 荻野直人 (共同連代表)

特別報告 能登半島地震から学び これから私たちができる対策や備えについて知る
八幡隆司さん ゆめ風基金

全体会2

「共に働く」場を広げるために社会的協同組合を展望する
高橋弘幸さん (センター-事業団関西事業本部長)
新居良さん (豊能障害者労働センター-副代表)
斎藤縣三 (共同連代表)
進行: 白杉滋朗 (共同連運営委員 わっこの輪)

交流会 灯 (京阪ホテル地下1階天満橋駅 そば)

参加申し込みはこちら ↓



2 日目

分科会 5 分科会

①働く

「大丈夫か? 「障害」 が商品化される労働ビジネス!」

雇用率ビジネスは、障害者の労働と統合の機会を奪い、企業の雇用率ポイントに利用される。A型ビジネスは受けられるべき支援や労働機会から遠ざけ、税金を一部のオーナーの利益にされる。被害を被る弱者たち。今回は全国での実態の報告を受け、われわれが抗える方向性を探していこう」

②くらす

「障害者が街に消えていく」

滋賀県信楽の地で様々な実践を積まれた池田太郎氏は「障害者が信楽の町に消えてい

く」と表現し、障害者施設という「特別な」環境に制度のよって一生追い込まれていた障害者を一人の人間として地域で働き暮らしていく、その拠点として民間下宿に重要な意味合いを期待していたのではないかと?

滋賀信楽における民間下宿が滋賀県をして「障害者生活ホーム」の制度を県単で開始し、それが国を動かし現在のGH(障害者生活援助事業)の制度となったことを考えると、現在の実態が先人が思いを込めた当初の理念に沿っているのか?それとも今やそんな必要もないのか?70年を経て、障害当事者のニーズが変わって来ているのか?そもそも、誰のどのようなニーズにより最近の住まいの場は機能しているのか?

各地でホームを運営、経営されておられる仲間にご登壇いただき、最近も社会的問題になっているGH運営(営利)法人の事例なども俎上に挙げながら議論を深めていきたい。

③まなぶ

「共に学ぶ・共育は本当に広がっているのか?

様々な立場から現在の共育、「共に学ぶ」教育を切り、今後の展望を問う」

今回の分科会では、障害者自身の目線で、校区の小学校へ通う息子さんと『子育て』する母の目線で、障害の受けとめや支援についてを、同世代の二人と研究者の方をまじえたディスカッションにより一人ひとりの多様なつながりの中で培われる『共に学ぶ』が見えにくくなっている今、もう一度『共に学ぶ』を捉え直す機会にしていく。

また、『定員内不合格』で高校進学を阻まれた方からの報告を受け、「共に学ぶ」や「共育」が全国的にどういう状況にあるのかを知り、今後の展望を考える契機とする。

④仕事づくりとまちづくり

「共に働く～もともと発信!もともとつながって街の中にミリオクある仕事をひろげていこう・・・」

この分科会では「共に働く」仕事場で起こっている「できにくい」や「できない」ことがちょっとした工夫で仕事になることを伝えたい。そして、障害ある人、高齢者、働きにくさをかかえた人、さまざまな人が街の中で共に働く「魅力ある仕事や事業」の発信は街の人と有機的に繋がるきっかけとなることや今後の活動に活かせる取り組みを学び合う時間としたい。

⑤就労ワークショップ

だれも切らない、みんなでつながるあしたをいっしょに話しませんか?ワークショップ形式で行います。